

計画段階評価について
山陰道（おおい大井～はぎ萩）
意見聴取結果（第2回）

平成30年11月29日

国土交通省 中国地方整備局

1. 第2回意見聴取の概要	・・・	2
2. 第2回意見聴取の結果	・・・	6
3. アンケートクロス集計結果	・・・	11

1. 第2回意見聴取の概要

1. 意見聴取の概要

- 回収率向上に向けて、自治体や観光地等における道路利用者アンケートの常設を実施。
- 山陰道アンケート調査ポータルサイトを作成し、WEBアンケート調査も実施。

■道の駅、自治体等での道路利用者アンケート票の常設



▲萩市役所

■道の駅でのインタビュー調査

(平成30年1月7日(日)、平成30年1月15日(月))



▲道の駅「萩しーまーと」

■アンケート調査ポータルサイトの作成



ポータルサイト

山陰道の概要と検討状況

山陰道は、高松県高松市から最寄り線を由山口県下関市に至る390kmの高規格幹線道路であり、これまでに山口県内では「萩～三隅道路」を平成23年度に全線開通、「長門～徳山道路」を平成31年度開通に向けて工事を進めています。平成27年4月に、優先整備区間として5区間を決定し、このうち、平成28年度に「徳山～豊田道路」を、平成29年度に「木与防炎」を新規事業化し、調査・設計を進めています。現在、残る3区間の「大井～萩」、「三隅～長門」の計画段階詳細手続きを順次進めているところです。

【計画段階評価とは】
公共事業の効率性及びその実施過程の透明性の一層の向上を図るため、計画段階において、地域の課題や達成すべき目標、地域の意見を踏まえ、複数の比較・評価を行うとともに、事業の必要性及び事業内容の妥当性を検証するものである。
<国土交通省所管公共事業の計画段階評価実施要領より(一部省略)>

大井～萩 第2回アンケートはこちら

山陰道の計画に関するアンケート

木与防炎対策検討委員会

社会資本整備審議会道路分科会中国地方小委員会開催状況

	山陰道(三隅～小月)		山陰道(須子～萩)		
優先区間の絞り込み	第1回		第1回		
	第2回		第2回		
	第3回		第3回		
各区間の計画段階評価	徳山～豊田	三隅～長門	大井～萩	木与防炎	小月～田万川
	第1回	--	第1回	第1回	第1回
	第2回	--	第2回	第2回	第2回
	第3回	--	--	--	--

■WEBアンケートページの作成

■みなさまが重視される事項についてご意見いただき、対策案決定の参考に致します。

Q26 今回、3つの対策案を検討していますが、地域にとって望ましい案を考える際に何が重要だと思いますか。以下の重視すべき項目1～15から、特に重視すべきと思われる項目について最大3つまで選んでください。

■特に重視すべきと思われる項目を最大3つまで選択

- 1. 災害や事故等による通行止め発生時に代替路が確保されること
- 2. 線形不良箇所や幅員狭小箇所を回避し、安全に快適に走行できること
- 3. 通過交通と生活交通が分離できること
- 4. 渋滞が緩和できること
- 5. 農林水産物の集荷拠点や産地から消費地までの時間短縮が図れること
- 6. 観光地へアクセスしやすいこと
- 7. 救急医療機関へ早く、確実、安全に搬送できること
- 8. 歴史的遺産群や景観に影響がないこと
- 9. 自然環境への影響が小さいこと
- 10. 移転などが必要な家屋が少ないこと
- 11. 旧橋梁村・旧むつみ村方面の集落や主要施設との連絡性が良いこと
- 12. 工事中の交通規制の影響が小さいこと
- 13. 建設に要する費用が安いこと
- 14. 維持管理に要する費用が安いこと
- 15. その他: (回答必須)(入力制限なし)(200文字まで)

1. 意見聴取の概要

○回収率向上に向けて、広報紙への案内掲載、新聞広告を行うとともに、ケーブルテレビによる広報を実施。

■広報誌（市報HAGI 平成29年12月15日号）



地域を支える山陰道とするために

山陰道(大井～萩間)のアンケート調査への協力をお願いします

「大井～萩間」のルート帯を検討していく上で重視すべき項目を把握するため、国のアンケート調査が実施されています。萩市の観光や産業の振興に役立つ山陰道となるよう、積極的にアンケートにご参加ください。

山陰道の益田市～萩市間(約70km)は、今年4月に阿武町木戸で「国道191号木戸防災事業」が始まりました。また「益田市須子～田方川間(約12km)」と「大井～萩間(約15km)」が優先整備区間に選定され、現在調査が進められています。

〒配送されるアンケート用封筒上：世帯あて、下：事業所あて

3 市報HAGI 2017(平成29年)12月15日号

問い合わせ 土木課(25・3832)

■ケーブルテレビ（1部:H29年12月28日～平成30年1月2日、2部:平成30年1月4日～1月9日）

地域にお住まいの皆様へ

山陰道(大井～萩間) アンケート

■ 回答方法(3種類)

①萩地域、福栄地域、むつみ地域にお住まいの方、企業(事業所)を対象

12月中旬から郵送

- ・自宅→黄色の封筒
- ・企業(事業所)→水色の封筒

■期限 平成30年1月9日(金)までにポストへ投函してください

【回答はがき】(質問票をご買いただきお返すください)

アンケートの書き方(質問1)

▽①～⑤の項目のうち、重視すべきと考える項目を最大で3つ選ぶ

▽回答はがきの「特に重視すべき項目番号」の欄に記入

▽理由を「特に重視すべき理由・内容」の欄に記入

▽特に意見が無い場合は空欄

■新聞広告（読売新聞、山口新聞 H29年12月17日朝刊に掲載）

国土交通省からのお願い >>>> 平成29年 11月30日(木)～実施中

山陰道(大井～萩)の計画に関する 第2回 アンケート調査

山陰道は、鳥取県鳥取市～山口県下関市までの延長約380kmの高規格幹線道路です。現在、国土交通省では、山陰道(大井～萩)の道路に関する計画検討を行っております。今回のアンケートは、山陰道(大井～萩)の道路に関する計画検討を進めるにあたり、周辺地域の皆様のご意見を伺い、生活に役立つ道路の検討をさせていただきたいと考えております。ご協力をよろしくお願いいたします。

■ アンケート方法

- ・アンケート票が入った封筒を、下記の様様に配布しています。
- ・Webアンケートでもアンケートに回答いただけます。
- ・周辺地域の公共施設や観光施設等にもアンケート票を設置しています。

▼住民の皆様用(配布地域※1)の自宅にお届けする封筒

▼事業所の皆様用(配布地域※2)の事業所にお届けする封筒

※1 配布地域:萩市(日萩市・日穂支村・旧むつみ村)、阿武町、長門市(旧三隅町)

※2 配布地域:左記の配布地域(※1)及び対象区間を利用する可能性のある事業所

アンケートの問い合わせ先 実施主体 国土交通省 中国地方整備局 山口河川国道事務所 計画課 ☎0835-22-1819

http://www.cgr.mlit.go.jp/yamaguchi/sanindo/

計画対象区間

対象区間

萩市、大井、萩市、山口県

詳細ルート構造の検討

地域のみならず、地域の意見等も踏まえ、対応方針(案)を検討

第2回アンケート

地域のみならず、地域の意見等も踏まえ、対応方針(案)を検討

第1回アンケート

地域と道路の現状と課題を整理

現在はこの段階です

WEBアンケートも回答いただけます!

パソコン・スマートフォンからでも回答できます!

スマホからも追加出来ます!

※1 萩市、大井、萩市、山口県

※2 萩市、大井、萩市、山口県

■沿線自治体HPへのリンク設置

萩市 Hagi City Website

Google Custom Search

ホーム 市民便利帳 観光情報 事業者向けの情報 市政情報

現在地 ホーム > 経路で探す > 山陰道(大井～萩)のアンケート調査にご協力ください

山陰道(大井～萩)のアンケート調査にご協力ください

印刷用ページを表示する 掲載日:2017年12月1日更新

地域を支える山陰道とするために

山陰道(大井～萩間)のルート帯を検討していく上で重視すべき項目を把握するため、国土交通省によるアンケート調査が実施されています。山陰道が観光や産業の振興に役立つ道路となるよう、積極的にアンケートにご参加ください。

アンケートの種類

個人のお宅、企業、事業所に直接郵送されるアンケート

萩地域・福栄地域・むつみ地域のお宅、企業、事業所に直接アンケート用紙が送付されます。

送付時期 12月中旬
締め切り 1月9日(金曜日)までにポストへ投函

道の駅・観光施設・官公庁に設置されるアンケート

道の駅や観光施設、市役所、総合事務所などの官公庁にアンケート用紙が設置され、どなたでもアンケートに参加できます。

設置時期 12月中旬
締め切り 2月中旬までに届入付けの回収箱に投函

アンケート設置箇所一覧 (Excelファイル/12KB)

Webアンケート(インターネットでのアンケート)

どなたでも国土交通省山口河川国道事務所のホームページからアンケートに参加できます。

開始 11月30日
締め切り 2月15日

こちらからアンケートに参加(山口河川国道事務所のホームページ)

1. 意見聴取の概要

■意見聴取(アンケート)内容

質問事項

○特に重視すべき項目

○その他の懸念事項や配慮事項

【 質 問 票 】

(回答はがきに記載してください)

提示した対策案に対して、みなさまが重視される事項についてご意見いただき、対策案決定の参考にいたします。

質問1 今回、3つの対策案を検討していますが、地域にとって望ましい案を考える際に何が重要と思いますか？

以下の重視すべき項目①～⑮から、**特に重視すべきと思われる項目**について**最大3つまで**選んでいただき、**番号とその理由や内容**をお書きください。

- ① 災害や事故等による通行止め発生時に代替路が確保されること
- ② 線形不良箇所や幅員狭小箇所を回避し、安全に快適に走行できること
- ③ 通過交通と生活交通が分離できること
- ④ 渋滞が緩和できること
- ⑤ 農林水産物の集荷拠点や産業拠点から消費地までの時間短縮が図れること
- ⑥ 観光地へアクセスしやすいこと
- ⑦ 救急医療機関へ早く、確実、安全に搬送できること
- ⑧ 歴史的遺産群や景観に影響がないこと
- ⑨ 自然環境への影響が小さいこと
- ⑩ 移転等が必要な家屋が少ないこと
- ⑪ 旧福栄村・旧むつみ村方面の集落や主要施設との連絡性が良いこと
- ⑫ 工事中の交通規制の影響が小さいこと
- ⑬ 建設に要する費用が安いこと
- ⑭ 維持管理に要する費用が安いこと
- ⑮ その他（上記以外で重視すべき項目についてご自由にお書きください）

質問2 その他、道路を整備することによる懸念事項や配慮した方が良くと思うことなどがありましたら、ご自由にお書きください。

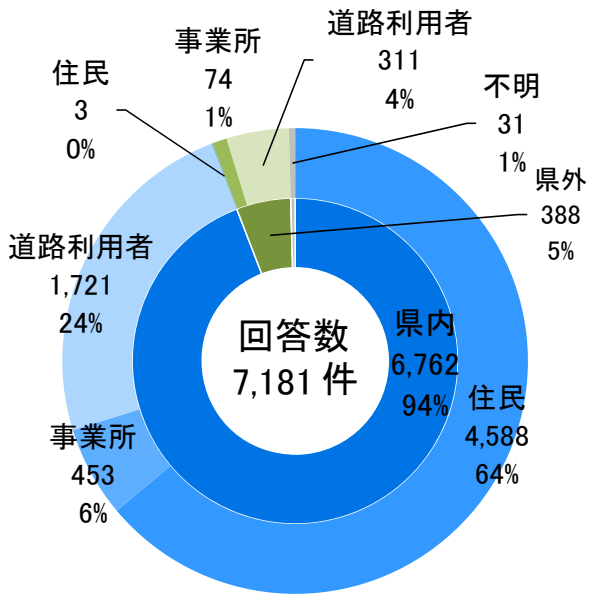
2. 第2回意見聴取の結果

2. 第2回意見聴取の結果

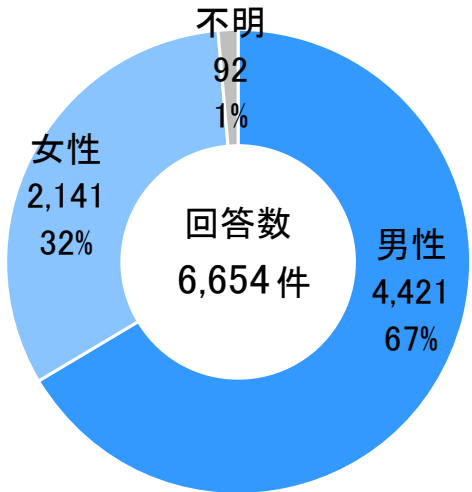
1) 属性①

○住民約4,700人、道路利用者約2,000人、事業所約500社から合計約7,200件の意見聴取を実施。
○回答者の性別は約7割が男性であり、年代としては50代までが約4割を占める。

アンケート回収状況

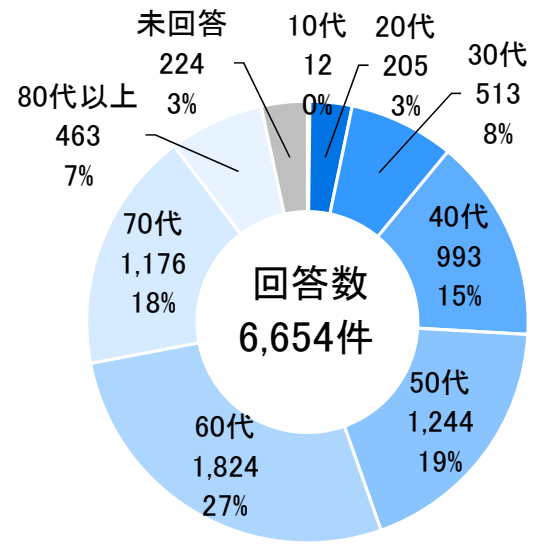


性別



※住民、道路利用者のみ

年代



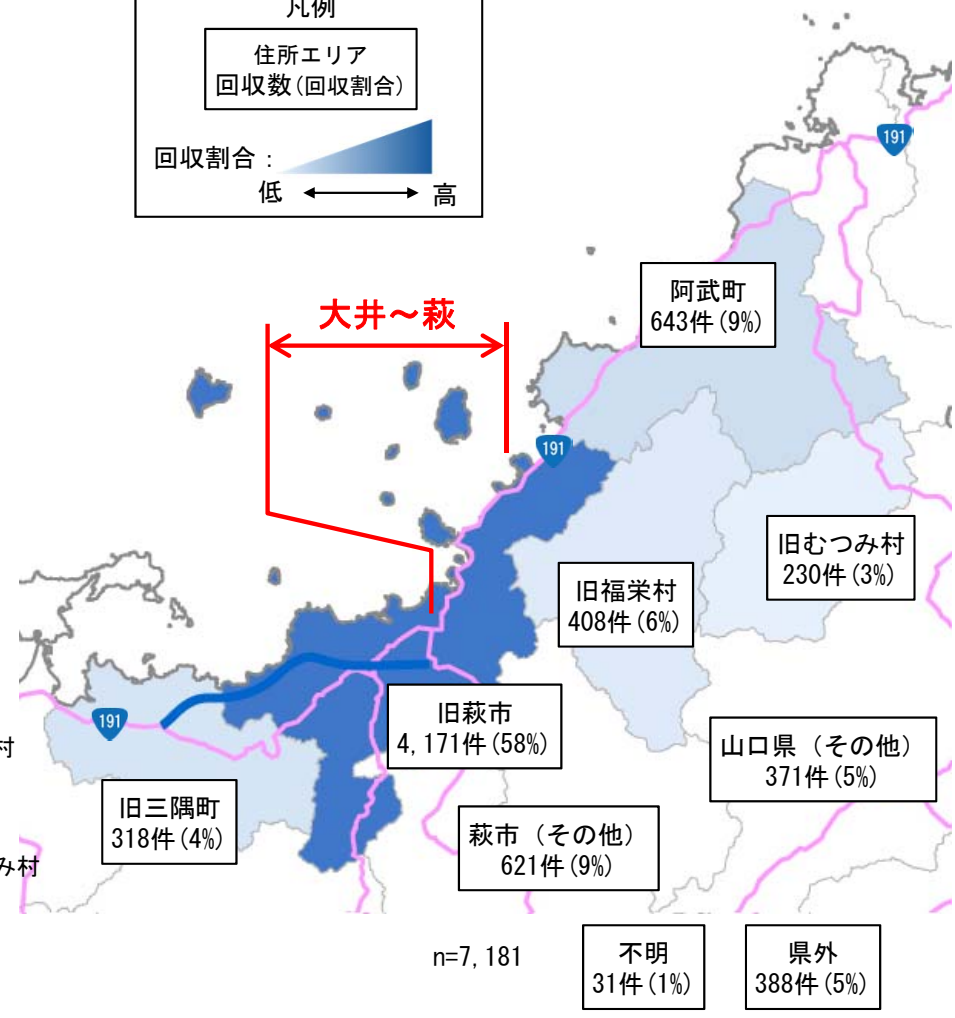
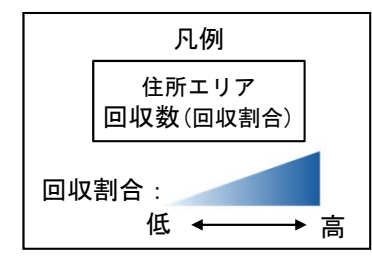
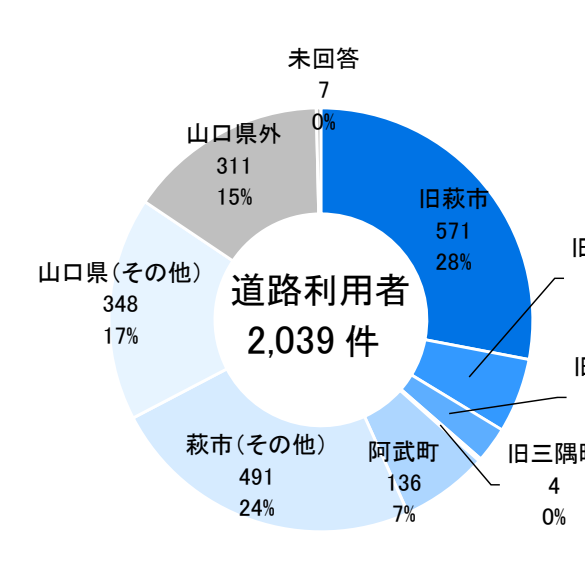
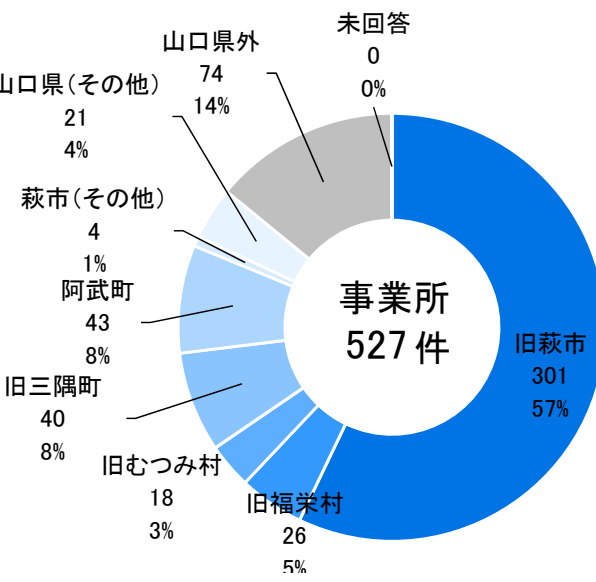
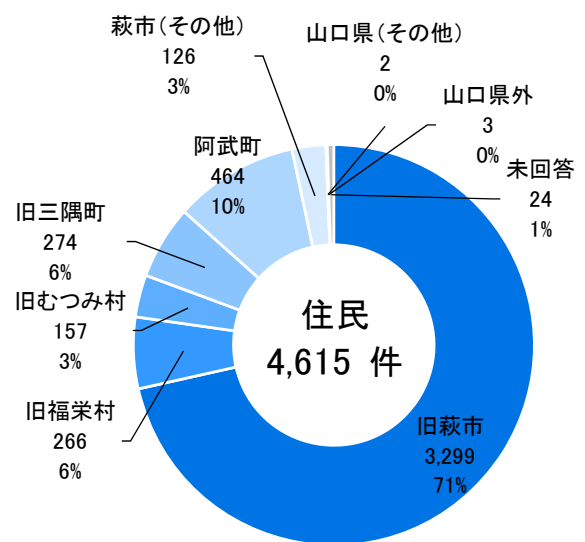
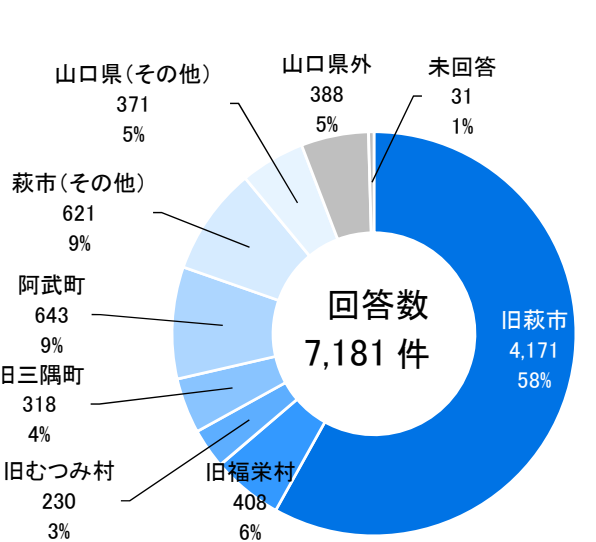
※住民、道路利用者のみ

2. 第2回意見聴取の結果

1) 属性②

○回答者のうち、旧萩市からの回答が約6割を占める。

住所

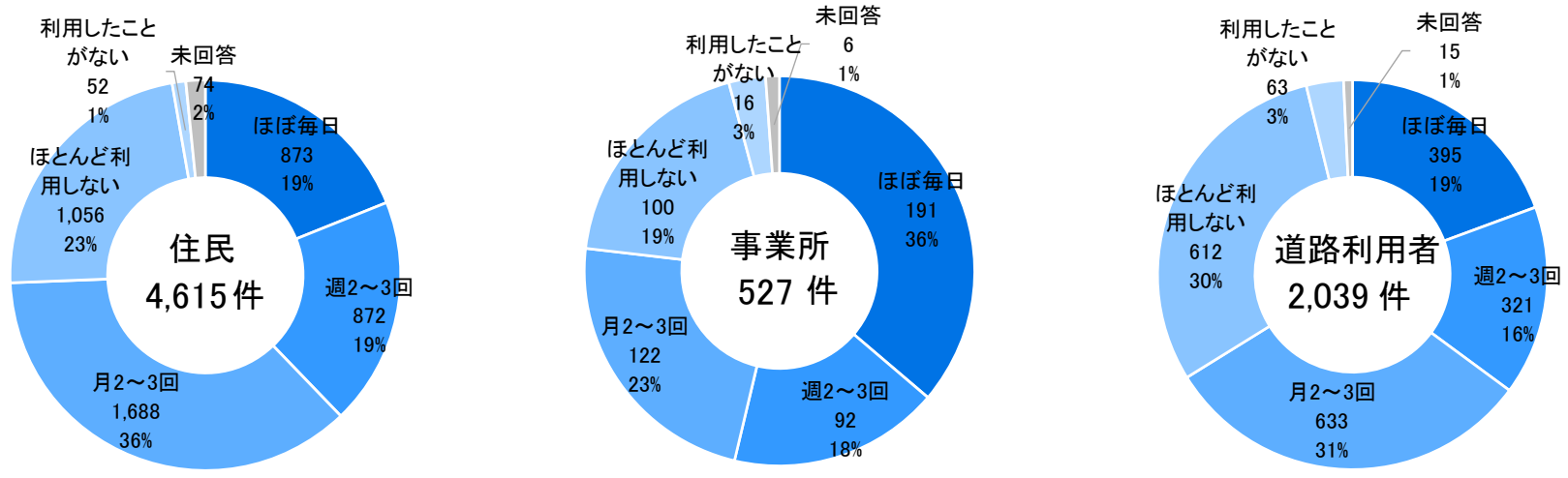


2. 第2回意見聴取の結果

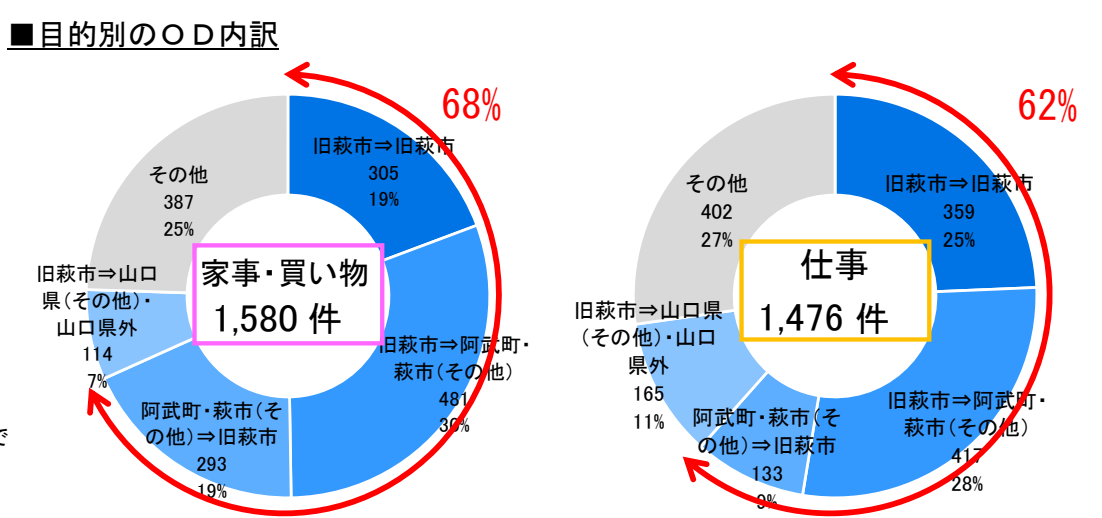
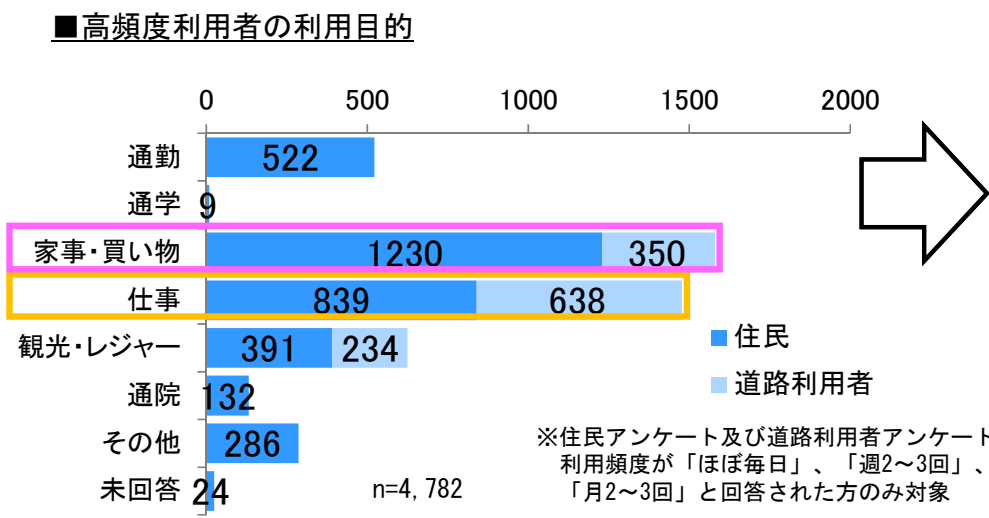
1) 属性③

○回答者の7割以上が当該区間(大井～萩)を「月2～3回以上利用している」と回答。
 ○住民と道路利用者の利用目的は「家事・買い物」「仕事」と回答した方が多く、旧萩市内の移動、旧萩市と阿武町・萩市(その他)間の移動が約6～7割を占める。

現在の国道191号(大井～萩間)の利用頻度



現在の国道191号(大井～萩間)の利用目的



※住民アンケート及び道路利用者アンケートで利用頻度が「ほぼ毎日」、「週2～3回」、「月2～3回」と回答された方のみ対象

2. 第2回意見聴取の結果

2) 特に重視すべき項目

○全ての住所において「① 災害や事故等による通行止め発生時に代替路が確保されること」が多い傾向にある。
 ○旧福栄村や旧むつみ村の回答者が特に重視すべき項目として「⑪ 旧福栄村・旧むつみ村方面の集落や主要施設との連絡性が良いこと」が最も多い。

住所別重要事項

質問1 今回、3つの対策案を検討していますが、地域にとって望ましい案を考える際に何が重要と思いますか？重視すべき項目①～⑮から、特に重視すべきと思われる項目について最大3つまで選んでいただき、番号とその理由や内容をお書きください。

特に重視すべきと思われる項目		旧萩市 (回答数:3,790人)	旧福栄村 (回答数:381人)	旧むつみ村 (回答数204人)	旧三隅町 (回答数277人)	阿武町 (回答数572人)	その他 (回答数1,303人)
効果・改善点による	① 災害や事故等による通行止め発生時に代替路が確保されること	74%	63%	61%	68%	80%	66%
	② 線形不良箇所や幅員狭小箇所を回避し、安全に快適に走行できること	39%	31%	26%	37%	40%	37%
	③ 通過交通と生活交通が分離できること	21%	9%	8%	23%	22%	20%
	④ 渋滞が緩和できること	20%	9%	13%	18%	19%	27%
	⑤ 農林水産物の集荷拠点や産業拠点から消費地までの時間短縮が図れること	11%	20%	17%	18%	9%	9%
	⑥ 観光地へアクセスしやすいこと	21%	14%	11%	28%	9%	30%
	⑦ 救急医療機関へ早く、確実、安全に搬送できること	34%	37%	42%	34%	53%	29%
配慮すべき点	⑧ 歴史的遺産群や景観に影響がないこと	8%	5%	2%	7%	3%	9%
	⑨ 自然環境への影響が小さいこと	9%	4%	6%	10%	10%	13%
	⑩ 移転等が必要な家屋が少ないこと	7%	3%	5%	6%	4%	4%
	⑪ 旧福栄村・旧むつみ村方面の集落や主要施設との連絡性が良いこと	12%	72%	73%	7%	8%	7%
	⑫ 工事中の交通規制の影響が小さいこと	11%	7%	6%	8%	11%	9%
	⑬ 建設に要する費用が安いこと	8%	3%	5%	10%	7%	9%
	⑭ 維持管理に要する費用が安いこと	9%	6%	8%	10%	8%	8%
	⑮ その他	1%	4%	1%	2%	2%	2%

※割合は、回答者数に対する各項目回答数を示している。
 ※1人あたりの最大回答件数を最大3件でカウント(1件もしくは2件しか回答していない回答者がいるため回答件数の合計は回答者数の3倍とならない)

3. アンケートクロス集計結果

3. アンケートクロス集計結果

1) 属性分析① (住所別)

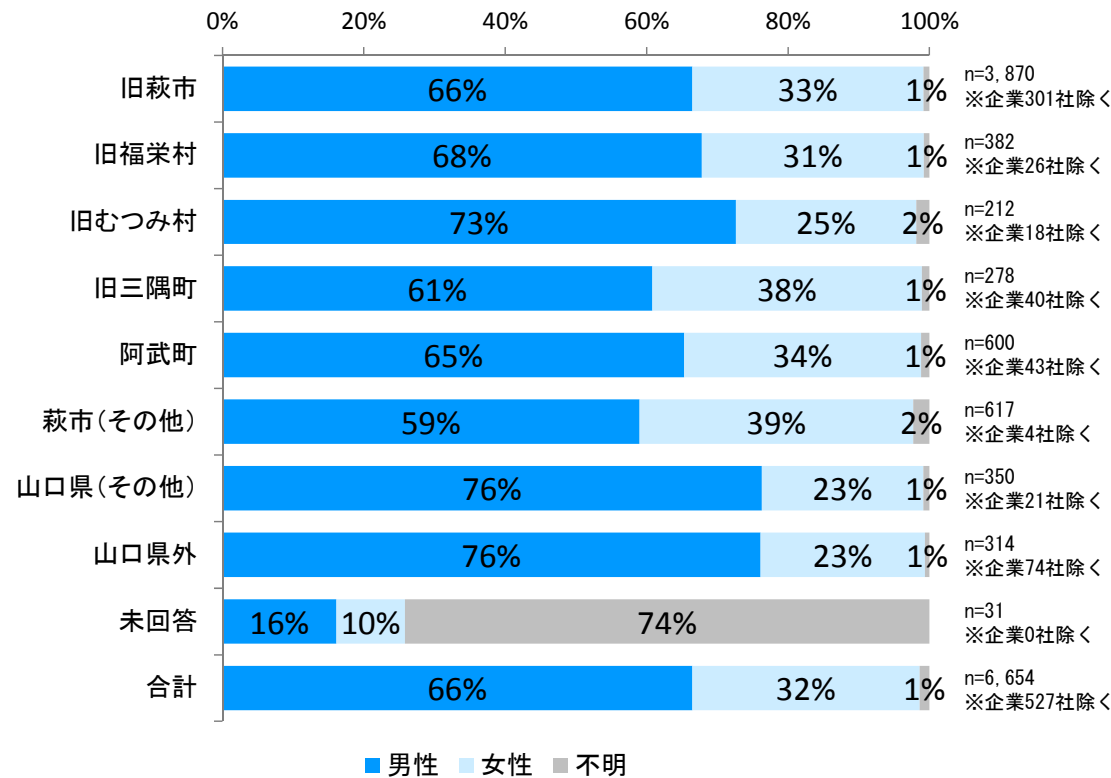
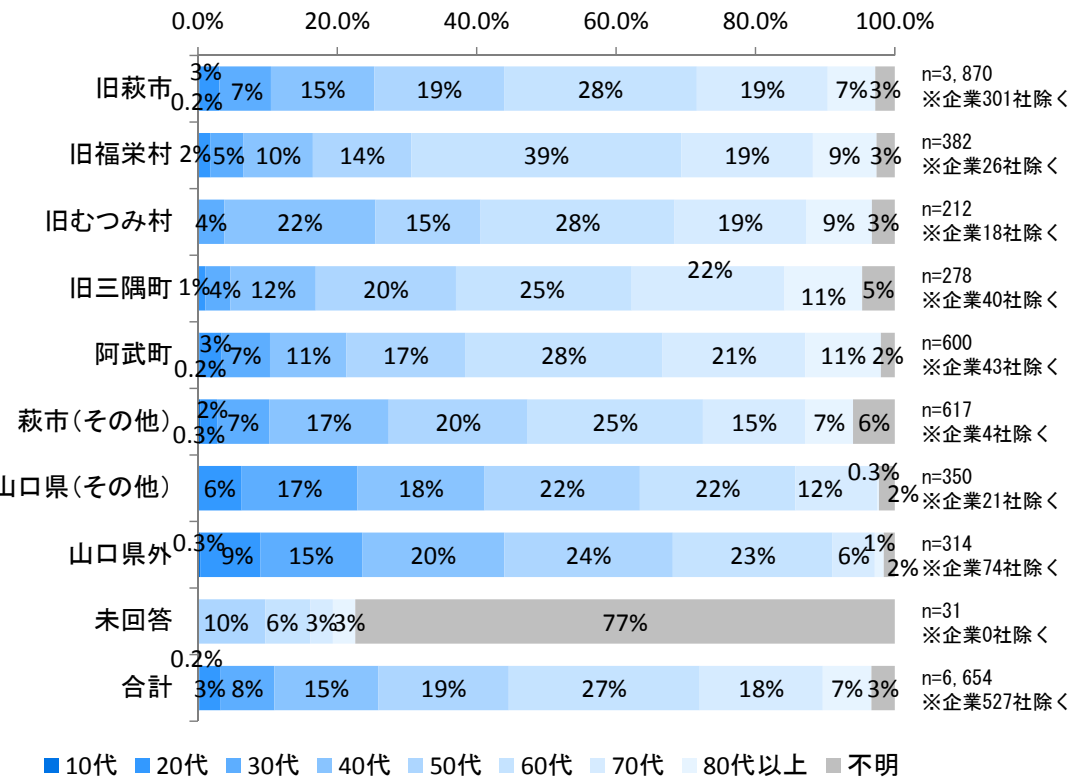
- 住所別年齢は、年齢構成に大きな偏りは無い。
- 住所別性別は、概ね男性が7割、女性3割である。

【住所×年齢】

総回答者数 N=6,654

【住所×性別】

総回答者数 N=6,654



※住民アンケート及び道路利用者アンケートの集計結果
※企業アンケート (n=572) を除く

※住民アンケート及び道路利用者アンケートの集計結果
※企業アンケート (n=572) を除く

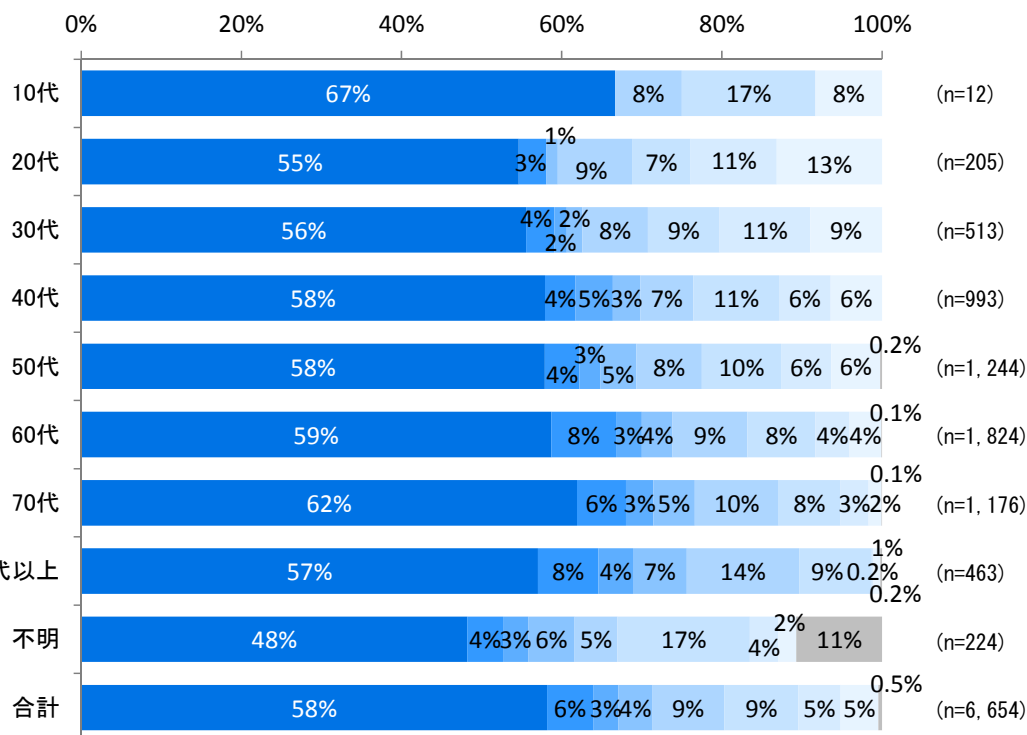
3. アンケートクロス集計結果

2) 属性分析② (年齢別)

- 年齢別居住地は、高齢になるほど旧萩市の回答者の割合が高い。
- 高齢になるほど、男性の回答割合が高い。

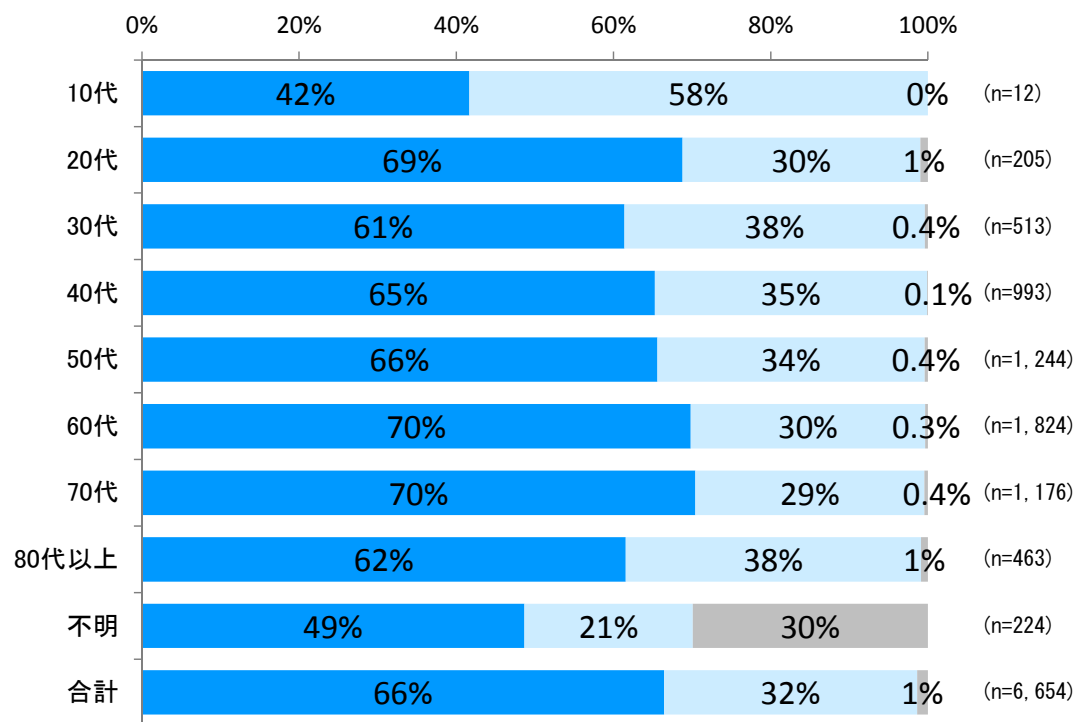
【年齢×住所】

総回答者数 N=6,654



【年齢×性別】

総回答者数 N=6,654



※住民アンケート及び道路利用者アンケートの集計結果
※企業アンケート (n=572) を除く

※住民アンケート及び道路利用者アンケートの集計結果
※企業アンケート (n=572) を除く

3. アンケートクロス集計結果

3) 属性分析③ (年齢別)

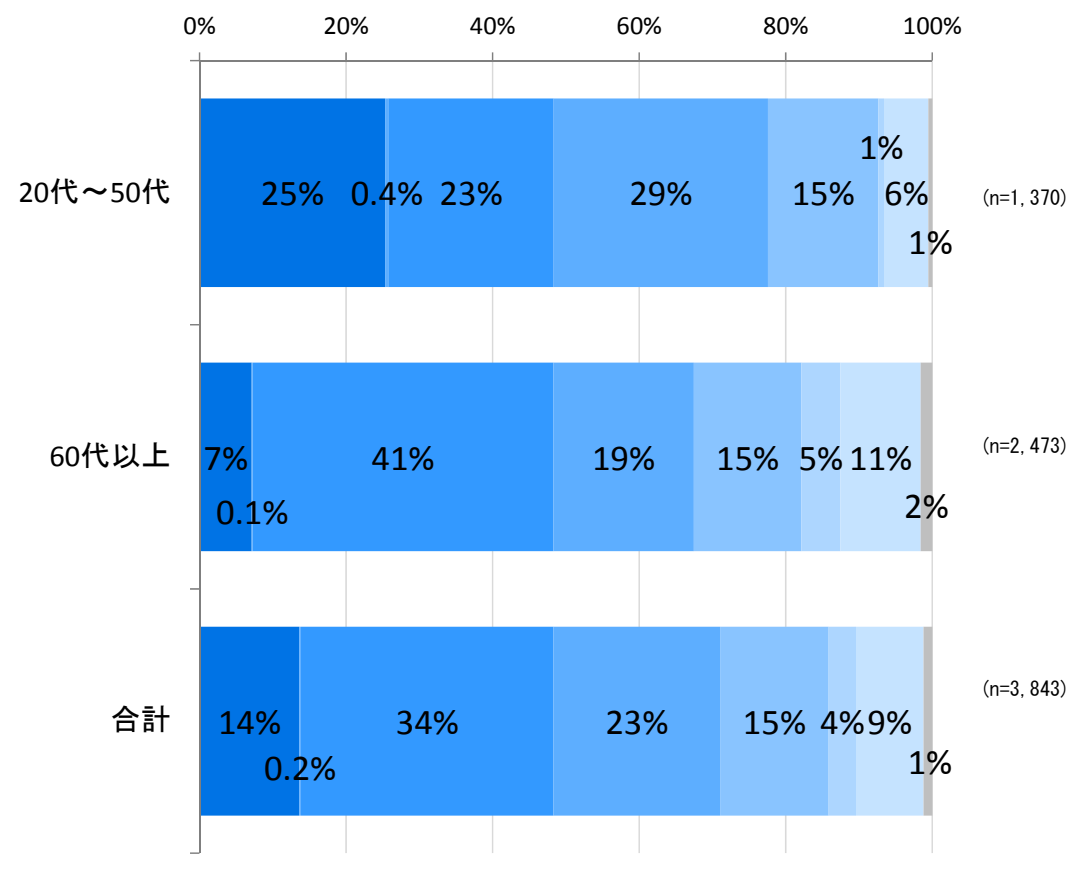
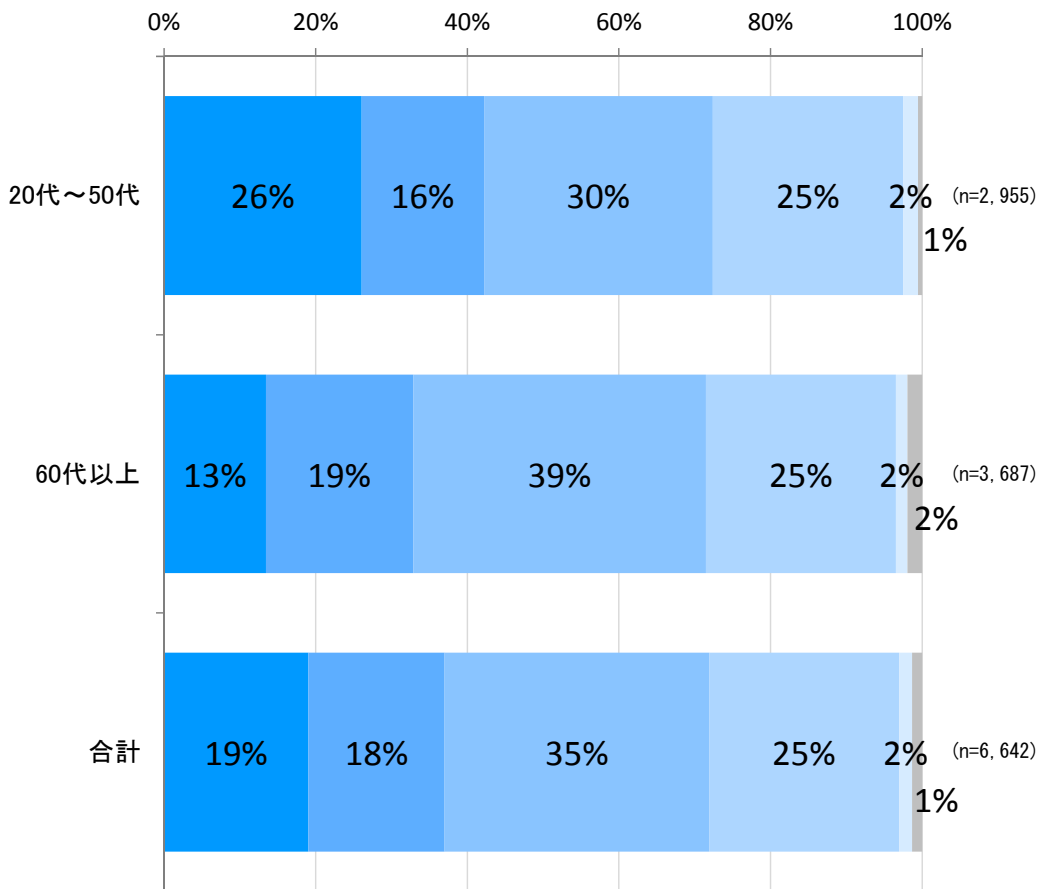
- 年齢別利用頻度は、高齢になるほど利用頻度が低い。
- 年齢別利用目的は20代～50代は通勤、60代以上は家事・買い物が高い。

【年齢×利用頻度】

総回答者数 N=6,642

【年齢×利用目的】

総回答者数 N=3,843



※住民アンケート及び道路利用者アンケートの集計結果
 ※10代 (n=12) を除く
 ※企業アンケート (n=572) を除く

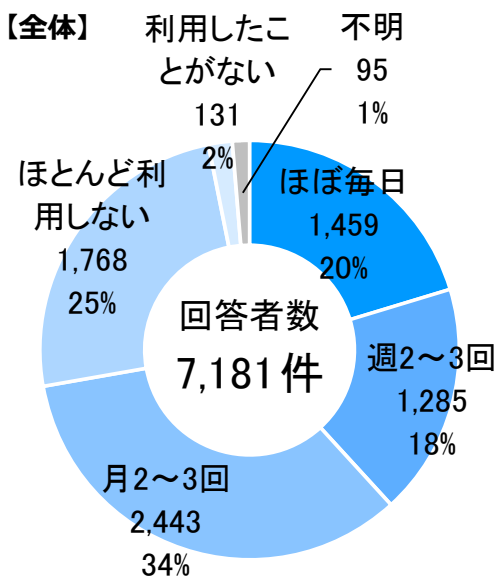
※住民アンケートの集計結果
 ※10代 (n=4) を除く
 ※道路利用者アンケート (n=2,039) 、企業アンケート (n=572) を除く

3. アンケートクロス集計結果

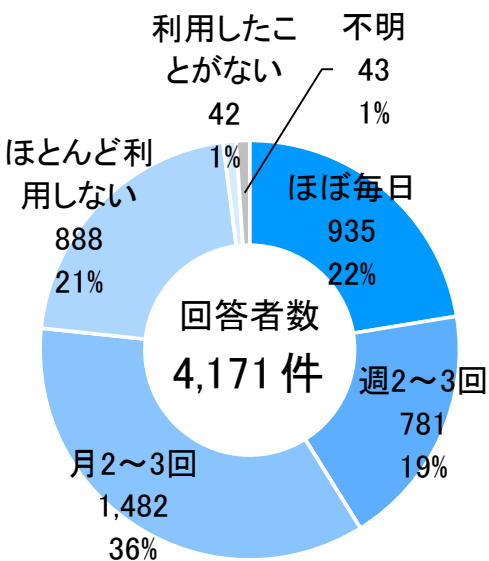
4) 利用頻度・目的分析（住所別）

○住所別の利用頻度は、阿武町の利用頻度が高い。
 ○住所別利用目的は、全体では「家事・買い物」が最も多く、次いで「仕事」「観光・レジャー」となっており、阿武町は「家事・買い物」、「通勤」となっている。

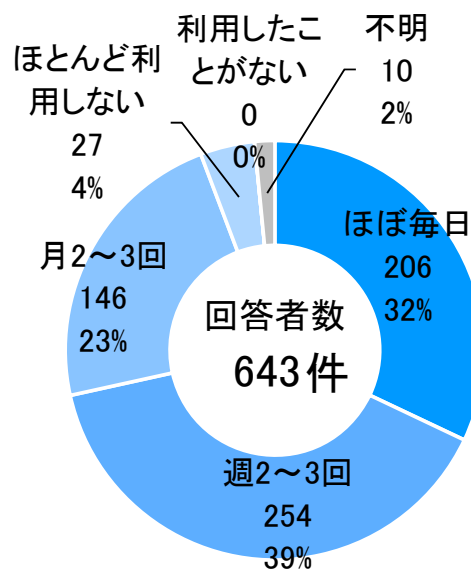
【住所×利用頻度】



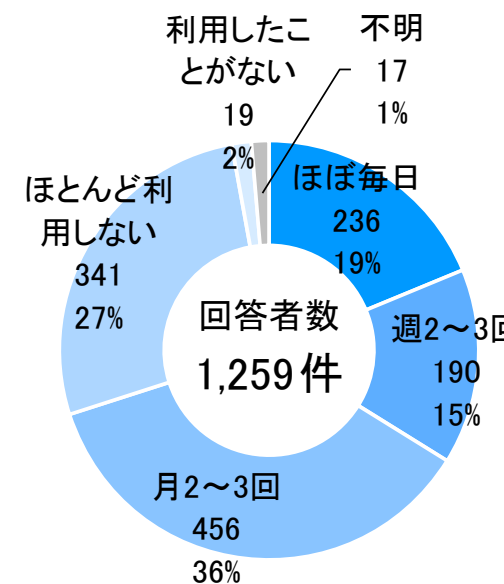
【旧萩市】



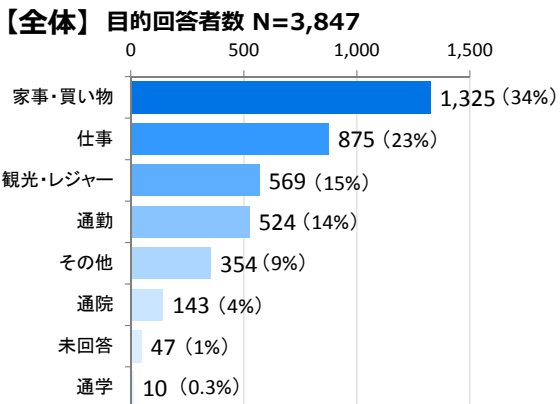
【阿武町】



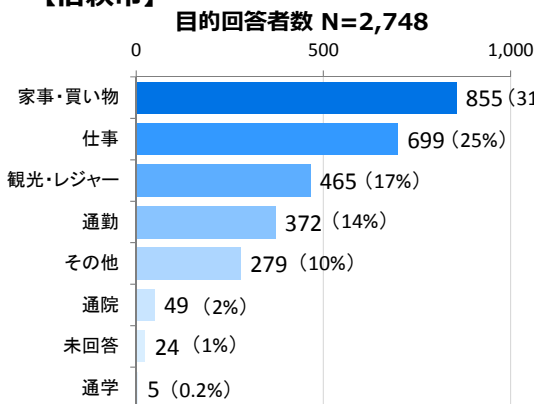
【萩市（その他）】



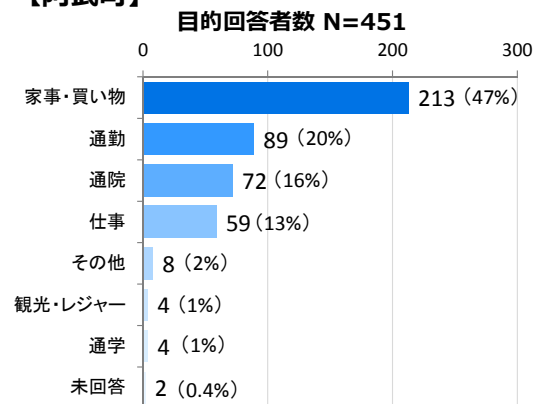
【住所×利用目的（住民）】



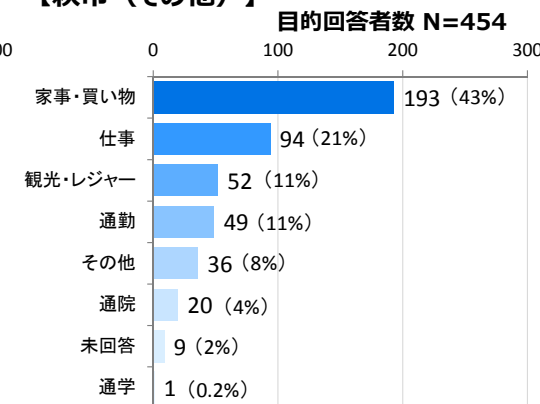
【旧萩市】



【阿武町】



【萩市（その他）】



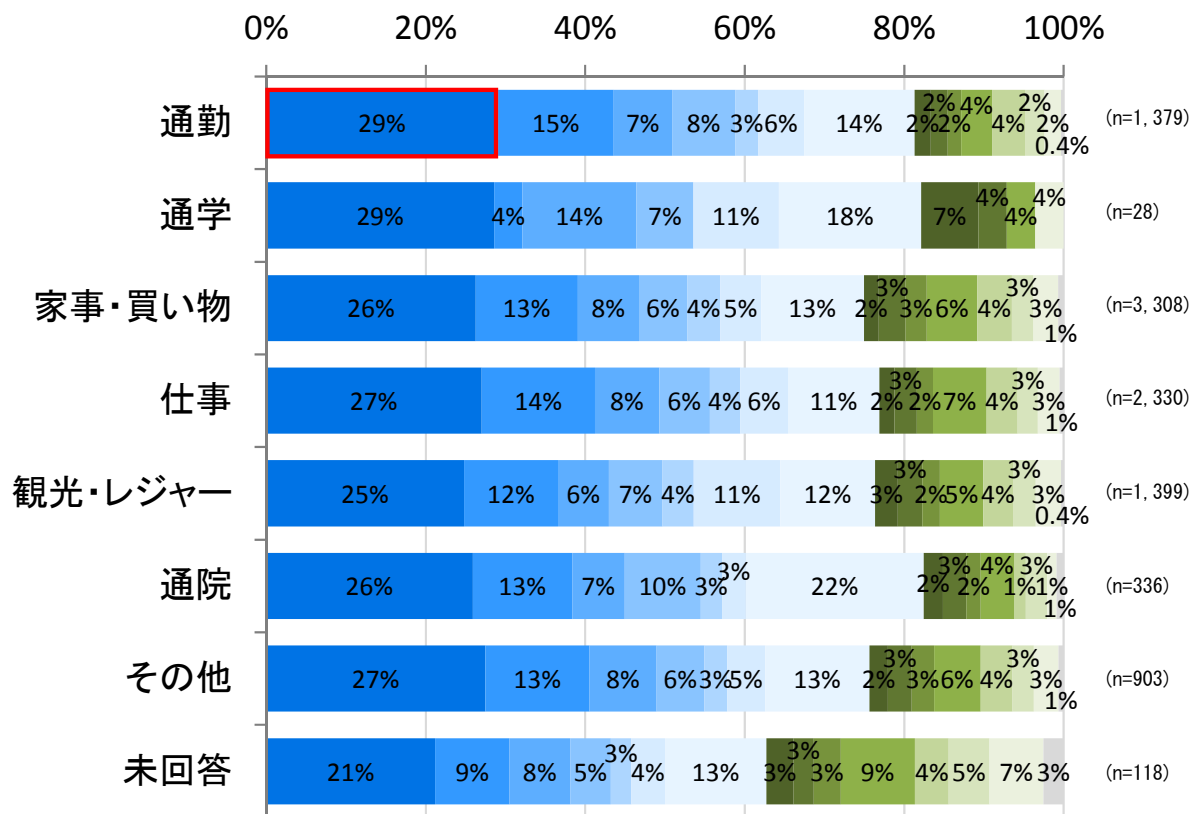
※住民アンケートの集計結果
 ※道路利用者アンケート (n=2,039)、企業アンケート (n=572) を除く

3. アンケートクロス集計結果

5) 特に重視すべき項目の分析①（利用目的別）

○通勤が利用目的の住民は、「①災害や事故による代替路」を重視する割合がやや高い。

【重視すべき項目×利用目的（住民）】



道路整備による効果・改善点

- ① 災害や事故による代替路
- ② 線形不良箇所回避
- ③ 通過交通の分離
- ④ 渋滞緩和
- ⑤ 農林水産物の時間短縮
- ⑥ 観光地アクセス
- ⑦ 救急搬送

配慮すべき点

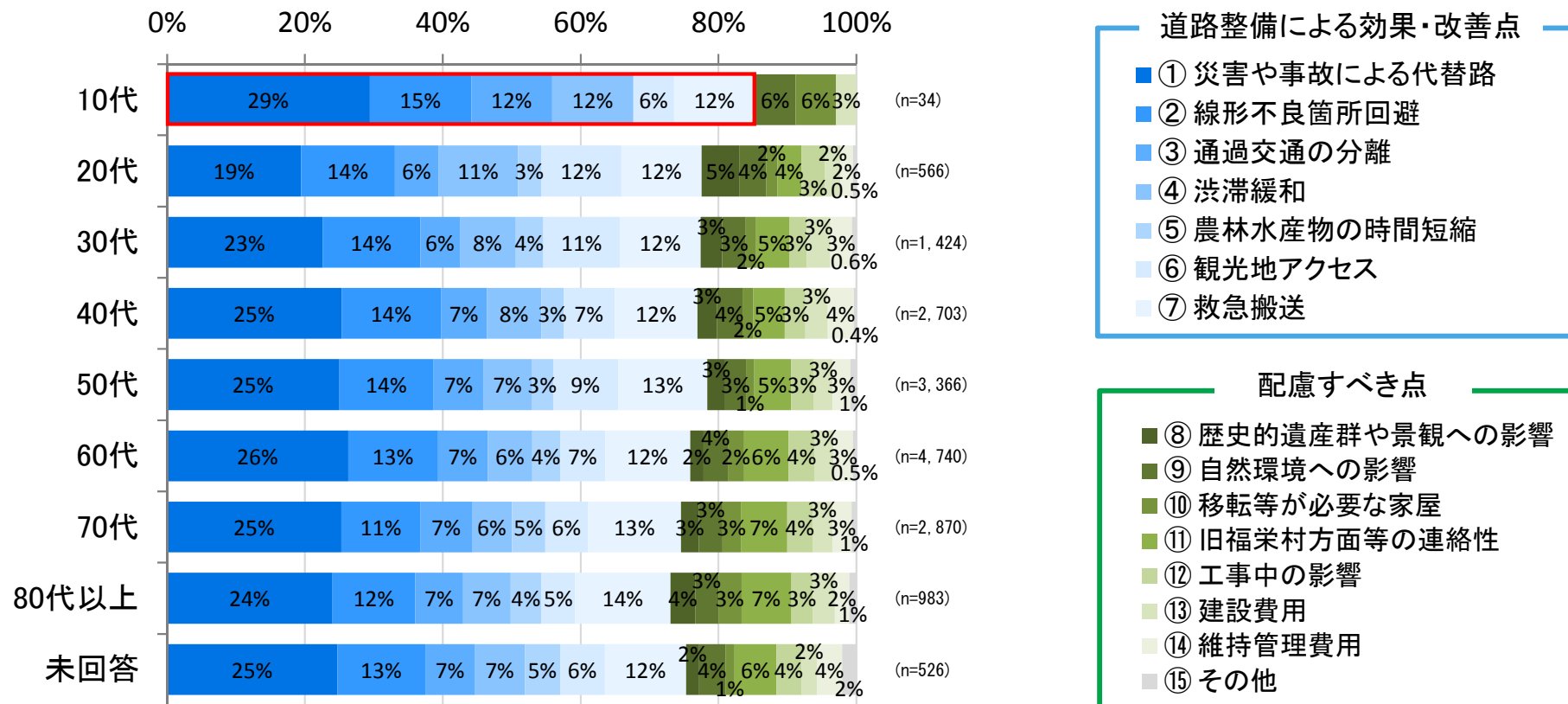
- ⑧ 歴史的遺産群や景観への影響
- ⑨ 自然環境への影響
- ⑩ 移転等が必要な家屋
- ⑪ 旧福栄村方面等の連絡性
- ⑫ 工事中的影響
- ⑬ 建設費用
- ⑭ 維持管理費用
- ⑮ その他

3. アンケートクロス集計結果

6) 特に重視すべき項目の分析② (年代別)

○10代が最も「①～⑦道路整備による効果・改善点」を重視しており、年齢の増加とともに、「⑧～⑮配慮すべき点」を重視する割合が増加している。

【重視すべき項目×年代】



道路整備による効果・改善点

- ① 災害や事故による代替路
- ② 線形不良箇所回避
- ③ 通過交通の分離
- ④ 渋滞緩和
- ⑤ 農林水産物の時間短縮
- ⑥ 観光地アクセス
- ⑦ 救急搬送

配慮すべき点

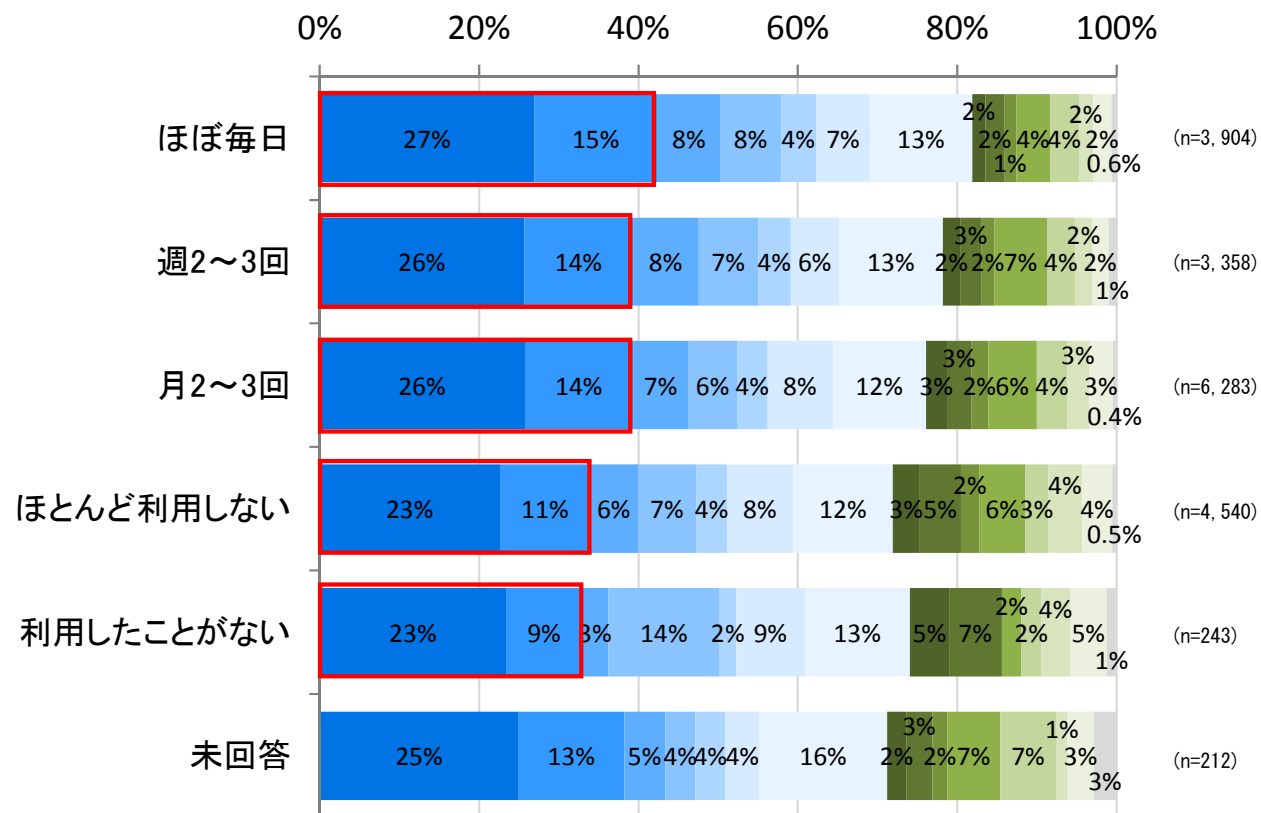
- ⑧ 歴史的遺産群や景観への影響
- ⑨ 自然環境への影響
- ⑩ 移転等が必要な家屋
- ⑪ 旧福栄村方面等の連絡性
- ⑫ 工事中的影響
- ⑬ 建設費用
- ⑭ 維持管理費用
- ⑮ その他

3. アンケートクロス集計結果

7) 特に重視すべき項目の分析③ (利用頻度別)

- 利用頻度が高いほど、「①災害や事故による代替路」や「②線形不良箇所回避」を重視する割合が高い。
- 利用頻度が高いほど、「①～⑦道路整備による効果・改善点」のカテゴリを重視する割合が高い。

【重視すべき項目×利用頻度】



道路整備による効果・改善点

- ① 災害や事故による代替路
- ② 線形不良箇所回避
- ③ 通過交通の分離
- ④ 渋滞緩和
- ⑤ 農林水産物の時間短縮
- ⑥ 観光地アクセス
- ⑦ 救急搬送

配慮すべき点

- ⑧ 歴史的遺産群や景観への影響
- ⑨ 自然環境への影響
- ⑩ 移転等が必要な家屋
- ⑪ 旧福栄村方面等の連絡性
- ⑫ 工事中的影響
- ⑬ 建設費用
- ⑭ 維持管理費用
- ⑮ その他